

止まり木

令和5年（2023年）

11月21日発行

第25号

大阪市立横堤中学校



かわいい未来の宝

明後日、11月23日は“勤労感謝の日”で祝日となります。その日にちなんで今年もお隣のソフィア保育園から未来の宝であるかわいい訪問者が中学校に来てくれました。

園児たちは、校長先生や先生方に「いつもありがとうございます。」と元気な声でお礼の言葉を言ってくれた後、手作りのとてもかわいい来年のカレンダーを贈呈してくれました。



カレンダーは玄関に入ったところの掲示板に昨年頂いたものが貼ってあります。12月になれば今年いただいた来年のカレンダーを貼りたいと思います。ぜひ、みんなも見てください。心が何かほっこりしますよ。そのあとは園児たちに池の鯉を見てもらいました。まさか、こんなところに魚がいるとは思っていなかつたようでみんなびっくりしながらも鯉を観察していました。

鯉たちも園児の声がするほうに集ってきて、子どもたちを歓迎しているようでした。みんなもこれから地域の中で、こんな小さな弟や妹と出会うことがあるかと思います。どうか、優しい気持ちで接してあげてください。

さて、今年も残すところあとわずか。年内最後の祝日が、今日紹介している11月23日の「勤労感謝の日」です。1948年に制定された「勤労感謝の日」とはどんな祝日なのでしょうか？

働いている人（イメージはお父さん）に感謝する日だと思っていたら、少し違いました。

「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日」と国民の祝日に関する法律では、このように制定されています。仕事を大事なものとして重んじ、その成果を喜び、みんなで感謝をしあいましょう！というような意味だと思います。もともと11月23日は「新嘗祭（にいなめさい）」という名前の祭日だったそうです。

その年の収穫物を神様に捧げ感謝をし、翌年も豊作であるように願う日本古来の重要な宮中行事「新嘗祭」現在も大切な行事として執り行われているそうです。

戦後に、「勤労感謝の日」と名前を変えましたが「新嘗祭」が五穀豊穣に感謝する日であったことからも、普段当たり前のように口にしている食物に感謝をする日でもあるのです。

もちろん食物を作ってくれている生産者・販売者の方にも感謝。その食物を買ってくれる方にも感謝。そして、その食物を美味しく料理してくれる方にも感謝です。

自分の生活が成り立っているのも、どこかで働いているたくさんの人たちのおかげなんだと、改めて思います。11月23日は、毎日の食卓に感謝をしつつ、周りの人たちとも日々の頑張りをお互いに感謝する日。そう考えると、「勤労感謝の日」が素敵な祝日に思えてきます。

さあ、まずは身近な家族に「いつもありがとう」と一言だけでも言えるみんなであってほしいと願っています。

今日から始まった期末テスト。2年生には大変な思いをさせていますが、体調管理をしながら24日からのテストに臨んでください。いつも言っているように最後まで絶対にあきらめずに問題に立ち向かい、解答用紙をすべて埋める努力をしてくださいね。みんなの健闘を祈っています。

